



# 明治大学校友会

# 福岡支部だより

● 創刊号 ●

明治大学校友会福岡支部事務局 / 〒810-0004 福岡市中央区渡辺通4-1-2 セントラルホテルフクオカ内 TEL092-712-1212

## 校友会活動は 関東大震災の復興から



校友会福岡支部支部長  
古賀 愛人

新年明けましておめでとうございます。

母校明治大学はご存じの通り、新世紀の2001年に創立120周年を迎えることになり、さらにこの伝統の上に立って新しい時代を背負って行く人材を育成して行くための新しい時代に即応した情報文化と学の殿堂を構築して行くための努力を続けているわけです。

このため大学側は全国の校友に向かって建設資金400億円のうち100億円を引き受けてもらいたいと切望、校友会としても、昨年から今後6年間でその達成を計るべく、青木校友会会長を中心に走り出しているところです。

福岡支部でも全国229の校友会支部と歩調を合わせ、幹事会を中心に具体的な募金活動を展開し、校友の皆さんに総会など機会あるごとにおねがいを致し徐々にではありますが実績を積み重ねてきております。

新年を迎えここに改めて厚く御礼を申し上げますとともに、福岡支部として昨年から3年計画のなかで2000万円の募金を目標としておりますので、まだ応募していただけない校友の方々に、この新年のご挨拶を通じて改めてお願い申し上げる次第でございます。

福岡支部は現在名簿上では1,100名を超えておりますが、新年会や総会などでは、150名前後の方が出席して懇親を深めていただいているのが現状です。

いつまでも「白雲なびく駿河台」のあの天下に名だたる校歌を忘れず、肩を組み声高らかに歌い続けるお互いの姿こそ、校友一人一人の人生に明日への新しい力を与えてくれるのではないのでしょうか。

それだけに岡村理事長、栗田総長を中心に展開されつ

つある新時代の明治大学の実現の為に校友一人一人が賛同し、貧者の一灯を献じその実現を不動のものにしようではありませんか。

さて校友の希望もあり新年にあわせ、支部だよりを創刊することにしましたが、私自身がかねてから知りたいと思っていました明大の歴史や校友会発足の一端をここに記したいと思います。

明大は島原藩の若い武士だった岸本辰雄氏他2名が明治13年江戸の同藩上屋敷一現在の東京銀座に近い数寄屋橋のたもと一に明治法律学校を開校したのはじまりで、同44年に駿河台に校舎を移転、大正12年大学令により大学となりましたが、この年9月関東大震災で校舎も記念館も焼けたり崩壊したり、やっとのことで大正末期から復興し昭和3年に記念館が再建されたのです。

一方、校友会の方は明治44年に全国的な組織ができていましたが、関東大震災後の大学復興を機に本格的な活動が展開されたようです。

なお、今年は虎年であり、中国の古語には、「獅子は虎を千里の野辺に放つ」とか「虎は千里を走る」といった言葉がありますが、どうやら虎の強さより、とんだ厳しい年になりそうな雲ゆきだけに、心して対処し、意義深い新年であるように祈って止みません。



## 平成9年度 校友会福岡支部総会報告

期 日 平成9年9月10日18時  
場 所 セントラルホテルフクオカ  
BFサンゴホール

出席者 (会員)130名  
来 賓

明治大学 総 長 栗 田 健  
明治大学 校友会 会長 青 木 信 樹  
明治大学 福岡県 父母会 会長 東 富士男  
他 7名

### 福岡県内支部より

小倉支部 幹事長 清 末 襄  
若松支部 支 部 長 有 馬 高 明  
八幡支部 幹事長 大 森 由 一  
大牟田支部 支 部 長 山 崎 精 幸  
戸畑支部 支 部 長 岩 永 親 一  
久留米支部 支 部 長 絹 笠 順 一  
田川支部 支 部 長 中 村 二  
田川副支部 支 部 長 徳 丸 昌 孝 (敬称略)

総会はまず平成8年度物故者に対し1分間の黙祷をさげ、司会は岡田浩一校友(H2商卒、KBCアナウンサー)の名調子で始まり、まず古賀愛人支部長の挨拶で母校明治大学創立120周年記念事業募金のご協力に対する御礼と福岡支部募金目標2000万円には現在半額の1000万円が集まっているが目標額達成にはより一層のご支援とご協力を賜りたいとのお願いがありました。

次に議事に入り、石井義孝事務局長より事業報告と事業計画の説明があり、城戸直樹会計幹事より会計報告があり、橋本敏夫監事より監査報告があり、満場一致で承認され、無事総会が終了した。

続いてご来賓の挨拶は栗田健総長より新校舎建設の進捗状況やルネッサンス21計画では明治大学は21世紀にむかって生涯学習構想にとりくみ、明治大学はもとより日本国から全世界に貢献することを目的とする、壮大な構想



を力強く説明された。

次に青木信樹校友会会長より校友会の現状と120周年記念事業募金の状況のお願いをされ、福岡には多数の友人が居り、特に同級生の緒方豊吉副支部長に会うことを楽しみに来たとのこと挨拶がありました。

最後に福岡県父母会の東富士男会長より父母会の現状の説明があり、募金には父母会からも協力をしていますが、貴重な浄財を有効に使って下さいと苦言を呈するつもりでしたが栗田健総長の説明でよく解りましたとのこと挨拶がありました。

懇親会は会場を移して、まず緒方豊吉副支部長の開宴のことばで始まり、福岡支部総会では欠かすことができない名物挨拶で、青木信樹校友会会長との学生時代の思い出話を披露され会場は笑いの渦に巻き込まれた。

次に福岡県内支部長を代表して明年福岡県連合支部総会を担当していただく久留米支部絹笠順一支部長より来年の連合支部総会には今から準備をしますので多数のご出席をお願いしますとの挨拶があり、わざわざ東京より出席していただいた明治大学元職員で福岡支部顧問である木下健先輩よりお祝いのことばを賜り、蒲原順次連合支部長の乾杯の音頭で宴が始まった。

昭和初期の卒業生から平成9年の卒業生まで一同に会して和気あいあいとした雰囲気の中で宴は進み、新入会員の紹介があり各人自己PRをした。その後出席者全員に当たる抽選会があり、最後に校歌斉唱を小石原英照常任幹事の指揮で全員肩を組んで声高らかに歌って盛会裡のうち懇親会が終了した。

## 渡 公認会計士事務所

所長 渡 治 男  
(昭和16年専門部商科卒)

〒810-0001福岡市中央区天神1-12-1 福岡東海ビル  
TEL092(721)5525  
FAX092(721)5526

## 岩崎・多川法律事務所

弁護士 岩 崎 明 弘  
(昭和34年法学部卒)

事務所 〒810-0041福岡市中央区大名2丁目2番26号  
親和ビル3階  
電話(092)781-0019番  
781-0025番  
771-1967番  
FAX(092)771-1967番

## 校友会福岡支部 平成8年度 会計報告書

自 平成8年8月1日  
至 平成9年7月31日

収入の部		支出の部	
費目	金額	費目	金額
前年度繰越金	2,662,381	総会費	1,002,793
年会費(@3,000×255名)	765,000	校友会分担金	295,121
総会会費(@5,000×104名)	520,000	新年交礼会	607,041
〃 (@3,000×5名)	15,000	会議費	513,933
祝儀(総会~4口、新年交礼会~4口)	180,000	祝儀(5口)	70,000
校友会補助金	60,200	総会会費(若松支部)	150,000
県連会費	400,000	通信費	63,150
新年交礼会会費(88名)	514,000	印刷費	101,070
テレホンカード売上金	24,000	募金委員会準備金	435,000
校友会会員名簿売上金	29,000	博紫会通信費(8年度分)	100,000
受取利息	5,927	雑費	117,859
小計	5,175,508	小計	3,455,967
		次年度繰越金	1,719,541
合計	5,175,508	合計	5,175,508

## 平成9年度 校友会福岡支部事業計画

- 平成9年12月 明福ゴルフ会(大博多CC)  
平成10年1月 新年交礼会(セントラルホテルフクオカ)  
4月 明福ゴルフ会  
5月 福岡県駿台ゴルフ会(福岡支部担当)  
校友会代議員総会  
6月 韓国同窓会総会  
福岡県連合支部総会(久留米支部担当)  
福岡県父母総会  
7月 博紫会総会

校友会全国青森大会

青森県支部担当

10年8月2日

青森市民文化会館

※ねぶた祭期間中

※青森大会に参加ご希望の方は福岡支部事務局まで  
お申し込み下さい。

司法書士

萩尾政明事務所

司法書士 萩尾政明(昭33法)

司法書士 萩尾政彦(昭60法)

〒810-0042 福岡市中央区赤坂1丁目14番22号

☎092(781)1731  
☎092(781)1733

総合建設業

株式会社 善工務店

取締役社長 善高志

常務取締役 善敏治

(昭和50年工卒)

〒812-0021 福岡市中央区今泉1丁目21-13

TEL092(771)3731(代)

# 平成9年度 明治大学校友会福岡支部 定期大会・懇親会



栗田 健 総長



青木信樹 校友会会長



東 富士男 福岡県父母会会長



緒方豊吉 副支部長



絹笠順一 久留米支部支部長



木下 健 福岡支部顧問

平成9年度  
**明治大学校友会福岡支部定期総会**



福岡県内各支部代表のご紹介



蒲原順次 福岡県連合支部支部長



新入会員 自己紹介



抽選会、全員に当ります 名合武幹事



父母会役員の方にも当りました



小石原英照常任幹事の指導で全員で肩を組み「校歌」斉唱

◎福岡支部募金委員会よりお知らせとお願い

平成9年4月より福岡支部の校友会会員の皆様に、明治大学創立120周年記念事業に関する募金のお願いをして参りましたが、皆様方の深いご理解と多大なご協力を賜り、11月末日現在、約1千万円の寄付金をお寄せ頂きましたことをご報告申し上げますとともに、厚く感謝申し上げます。次第でございます。

明治大学募金室には速やかに送金させていただきました。

右記に福岡支部会員の寄付者一覧表を掲載(福岡支部扱い分のみ)致しましたが、当福岡支部の募金目標総額は2千万円となっておりますので、この目標額を達成するにあたり、福岡支部会員の皆様方をはじめ、企業、法人の方々からのご寄付を重ねてお願い申し上げます。

なお、募金予約申し込みも受け付けておりますので、事務局までご連絡をお願いいたします。

◆福岡支部募金要項

- ①募金目標額 2,000万円
- ②募金の種類 (a)個人寄付 1口5万円  
(一口以上お願いします。)
- (b)法人寄付 1口の金額は特に定めなし。

◆寄付金に対する免税措置

寄付金につきましては所得税の控除を受けることができます。

- ①寄付金が1万円超える場合は、その超えた金額がその年の課税所得額から控除されます。
- ②免税の手続きは、寄付をしていただいた翌年の確定申告期間に、明治大学発行の領収書と文部省の「特定公益増進法人証明書」(写)を添えて所轄税務署に確定申告を行い、所得税の還付請求をしてください。
- ③免税に必要な領収書及び証明書(写)は、寄付金が入金された後お送りします。

③募集期間 平成9年4月1日より3年間

④払込方法 下記の銀行及び郵便局の口座に払い込んでください。  
振込手数料は振込人負担でお願いします。

⑤払込口座

口座名 明治大学校友会募金委員会  
会計 城戸 直樹

●福岡銀行 香椎支店  
普通預金 No 1961181

●西日本銀行 香椎支店  
普通預金 No 1455201

●福岡シティ銀行 香椎支店  
普通預金 No 1328625

●福岡香住ヶ丘郵便局  
記号番号 01790-4-52887

⑥分割払の取扱い

分割払の取扱いをしておりますので、払込取扱票の通信欄にご記入ください。  
又は事務局までご連絡ください。

◆寄付者の顕彰

ご寄付を賜りました個人(5万円以上)及び、法人・団体(10万円以上)につきましては、新校舎1階に「明治大学創立120周年記念事業募金寄付者銘板」を設置し、ご芳名を末永く顕彰していただきます。

◆寄付者全員に明大校歌CDを贈呈

ご寄付をいただきましたすべての皆様に記念品として、明大校歌オリジナル CDを贈呈されることになりました。CDの内容は、応援団吹奏学部やマンドリン倶楽部の演奏をバックに、応援団リーダー部やグリークラブの歌声のほか、カラオケ演奏も収録した校歌の3バージョンとなっております。



うなぎの  
せむし

代表取締役 安永 富士男  
(昭和30年商学部卒)

株式会社 森一発條

代表取締役 森 泰 播  
(昭和33年経営卒)

会社所在地/福岡市中央区西中洲3番11号 ☎786-4646(代)  
会社工場/福岡県粕屋郡粕屋町大字大隈38-4 ☎938-7800(代)

[直営店案内]

- 中洲本店 ■博多駅前店 ■蔵本店 ■けやき通店
- 第2中洲店 ■六騎(香椎店) ■薬院店 ■二又瀬店
- 高宮店 ■宇美店

〒813-0013 福岡市東区香椎駅前3-3-40  
TEL 671-1331(代)/FAX 671-1333

## 福岡支部募金状況（福岡支部扱い分のみ）

ご協力ありがとうございます。

■平成9年12月4日現在（敬称は省略させていただきます）

金200万円	松本 優三（56商）		
金100万円	古賀 愛人（18政）		
金60万円	森 泰播（33営）		
金50万円	三野原和光（37文）		
金25万円	岩崎 明弘（34法）		
金20万円	蒲原 順次（6法）	・緒方 豊吉（13政）	
金10万円	渡 治男（16専）	・横山 毅（16法）	・山本 秀雄（18政）
	池田 五郎（21法）	・安永 友儀（25法）	・小石原英照（27商）
	萩原 一彦（28政）	・橋本 敏夫（28政）	・奥蘭 克彦（29法）
	上月 武志（30商）	・塩崎 正臣（30文）	・長谷川敏夫（30商）
	安永富士男（30商）	・林 文郎（31工）	・井手 安美（31工）
	伊藤 文武（32法）	・萩原 弘章（33法）	・武藤健二郎（33法）
	萩尾 政明（33法）	・生田 俊明（34法）	・上杉 鷹雄（34商）
	石井 義孝（35商）	・梅津 幸弘（35法）	・城戸 直樹（37法）
	佐々木義宣（37文）	・笠原 靖美（37営）	・作野 士郎（41政）
	野口順四郎（41法）	・禅院 正隆（41政）	・上野 孝幸（46工）
	橘蘭 一（48文）	・善 敏治（50工）	・矢谷 学（50法）
	本田 博志（52法）		
金5万円	国松 弘（11商）	・竹田 醇（11政）	・坂本 秀信（16商）
	熊手 睦（18政）	・平山 又生（25法）	・柴田 涉（26法）
	建川 聰（28政）	・実測 正人（29商）	・橋本 徹彦（30政）
	田中 久也（33文）	・野田 幸生（33法）	・倉元 啓之（33政）
	井本竹次郎（34営）	・坂井 武敏（34法）	・木曾 厚三（34商）
	田中裕一郎（35政）	・藤野 勝也（36法）	・安武 秀忠（37商）
	古賀 徹也（37政）	・上田 誠三（38工）	・鮫島 俊隆（48政）
	石橋 哲理（48工）	・花田 重人（49政）	
金2万円	明石 貞久（41工）	・和泉周一郎（45工）	
金1万円	榊 光藏（8商）	・広瀬 梓（29政）	・山田 要明（51工）
金5千円	近藤 公男（34工）	・園田 博茂（36商）	・末永 節子（44営）

注：福岡支部で取りまとめ本部に納入しました方のみのご芳名です。

明治大学校友会  
宅建業者の会

# 明宅会

●校友会同業者及び関連業者のご入会を歓迎します

事務局/日興開発（伊藤）  
TEL 281-4144・FAX 291-7331

イースタン産業(株) 野口 順四郎(昭41法卒)  
古賀企画 吉田 喜行(昭45営卒)  
(株)さとうベネック 高園 義郷(昭42文卒)  
清水建設(株) 鈴木 克雄(昭33商卒)  
しみず住宅(有) 清水 保一(昭34法卒)  
(株)大 央 松岡 芳之(昭32商卒)

東急建設(株) 鐘ヶ江 哲也(昭49工卒)  
都市開発ホーム 吉田 英毅(昭42法卒)  
日興開発(株) 伊藤 文武(昭32法卒)  
(有)福丸土地 森山 峰昇(昭28商卒)  
名陵建設(株) 末永 充彦(昭43法卒)

[五十音順]

## 明福ゴルフ会

昭和61年10月に明治大学全国校友福岡大会を福岡県内9支部合同で開催し、それを契機に福岡県連合支部が設立され、同時に県内校友の結束と親睦をはかることを目的として福岡県駿台ゴルフ会が発足しました。幹事は各支部持ち回りで担当し、さる平成9年10月8日に八幡支部担当にて第26回目のゴルフコンペが開催されました。

その後、福岡県駿台ゴルフ会に参加している福岡支部の校友間で福岡支部内でもゴルフを通じて校友の輪を拡げ、親睦をはかろうとの気運がたかまり、平成3年10月に明福

### ◆東京六大学OBゴルフ大会

平成9年11月13日福岡カンツリー倶楽部和白コースに於いて、第1回福岡地区東京六大学OBゴルフ大会が開催された。

平成9年7月に法政大学校友会福岡支部幹事長久門氏より連絡があり、今春北九州市で東京六大学OBゴルフ会が80名の参加者で盛大に行われたとのことで福岡市でも始めてはどうだろうかとの相談があり、明福ゴルフ会の役員に話したところ明福ゴルフ有志で参加しようとなった。他の4大学に声をかけたところ早稲田大学と立教大学が参加を希望し、とりあえず4大学で始めることになった。各大学の幹事が集まり運営方法について打ち合わせを行い第1回目の幹事大学は法政大学になっていただき、第2回よりは団体戦の優勝大学が当番幹事となることに決定した。11月13日明大健児11名が福岡カンツリー倶楽部和白コースに結集し、明治大学の名誉をかけてコースに出て行った。参加者は総勢38名10組でプレイすることになり、組み合わせは各組4大学1名づつで1組となり、アウト・インに別れてスタートした。天気予報は時々雨となっていたが曇り空では

### ◆校友会福岡支部ゴルフ会々則

明福ゴルフ会会則は下記の通りです。入会ご希望の方は校友会事務局石井事務局長か、お知り合いの、校友会役員にご連絡ください。

1. 名 称 本会は「明治大学校友会福岡支部ゴルフ会」(通称明福ゴルフ会)と称す。
2. 目的 ゴルフ競技を通じて健康の増進に努めると共に、会員相互の親睦と発展に寄与することを目的とする。
3. 会 員 (イ)福岡支部校友で本会の主旨に賛同し、記名申し込みをされた方を会員とする。(ロ)本人の都合による脱会はこれを妨げない。
4. 役 員 (イ)本会は次の役員を置く。会長…1名、幹事…若干名、会計幹事…1名(ロ)役員任期は2年とする。
5. 会 費 (イ)年会費:2,000円当日会費:3,000円(ロ)年会費は通信費等に、当日会費は賞品代、懇親会費に充て、プレー費及びゴルフ場内での個人飲食代等は各自の負担とする。(ハ)参加申込後、開催日前3日以降のキャンセルについては当日会費を申し受けます。
6. 競 技 開 催 原則として6ヶ月に1回、一年に2回とする。
7. 競 技 方 法 (イ)18ホールストロークプレーと致します。(ロ)競技はローカルルールと致します。
8. ハンディキャップ 当会の算出方式によりハンディを決定します。但し最高ハンディは、男性30・女性36とする。
9. 表彰並びに賞品 (イ)優勝者に持ち回りカップと副賞を差し上げます。(ロ)賞品は5位までとし、プービー賞・ニヤビン賞・ドラゴン賞・ベストグロス賞・飛賞・参加賞等と致します。
10. 入 賞 の 条 件 (イ)初参加者は初回のみ優勝を認めず次位となります。(ロ)同ネットスコアの場合は、高年齢・ローハンディ・スコア勝ちを優先させます。
11. ハンディキャップ (イ)優勝は20%・準優勝は10%のハンディアップと致します。(ロ)アンダーパー者についてはアンダースコアの50%アップとします。(ハ)ハンディキャップの更新は正の整数とし、少数位以下は4捨5入致します。
12. 表彰式・懇親会 競技終了後、ゴルフ場又は指定会場にて催します。
13. 其 の 他 (イ)会則の変更、会の運営方法等の意見については幹事に申し出て変更決定致します。(ロ)福岡県駿台ゴルフ会と福岡県・熊本県対抗戦ゴルフ会もご案内しますので協力参加して下さい。

ゴルフ会が発足しました。初代会長には森泰播副支部長が就任し、現会長は小石原英照常任幹事となり、現在70名の会員で構成され、春と秋の年2回コンペを開催しています。

第13回明福ゴルフ会は平成9年12月10日、大博多CCで行われる予定だったが積雪の為ゴルフ場がクローズとなり中止となった。しかし夕刻セントラルホテルフクオカにて、一般参加者を含め忘年懇親会を開催し、おおいに賑わい、来年の更なるを健闘とお互いの健康を誓いあった。

あったが、雨はまったく降らず天候に恵まれた1日であった。プレイ中も昼の食事時間中にも青春時代の東京六大学の思い出話はずんだ。プレイ終了後、表彰式と懇親会があり、団体戦の成績は次の通りであった。

優勝 早稲田大学 376      準優勝 法政大学 389  
3位 明治大学 393.0      4位 立教大学 393.4

ハンディキャップの算出方法はダブルペリア方式とし、上位5名のネット合計での成績で順位を決めた。

残念ながら明治大学は4大学中3位の成績であったが、青春時代にかえて楽しい1日を過ごすことができた。

次回は早稲田大学の当番幹事で、開催されますので、ご参加の程よろしくお願い申し上げます。



参加者全員での記念写真



## 博紫会(集え!!若手駿台マン)

明治大学校友会福岡支部博紫会は40歳位までの若手校友を中心に構成される会で、校友会福岡支部の行事を補佐し、若手会員の親睦と活性化を計ることにより将来の福岡支部発展に寄与することを目的に結成されました。(会則もきちんと制定されています)

発足の経緯は、福岡で開催された校友会全国大会を機に、それまでどうしても年配OBの集まりという印象が強かった校友会活動をもっと若手も気楽に参加できる幅広いものにして盛り上げようという気運が高まり、応援団OB故林凱也 幹事長のご指導のもと、初代博紫会会長 横田耕治氏・副会長 上野孝幸氏・副会長 矢谷学氏を中心に平成元年マンドリン演奏会の運営応援を契機に結成されました。博紫会は20代の卒業はやほやの校友から、30代の脂の乗りかかった校友、さらには若干名の不惑?40代の校友で構成されており、福岡支部にとって必要不可欠な存在となっております。現在色々な面白い活動を展開しており、今までの活動をいくつか挙げて見ます。

1. OBの先輩方や各分野で活躍されている方を講師に招いて講演を聞き、一緒に一杯やる会を年2~3回実施。
2. 8月に博紫会の総会を、12月には忘年パーティーを盛大に開催。
3. ラグビー大学選手権の応援。(博紫会の紫紺の

## 八名信夫氏を激励

テレビコマーシャル「青汁マズイもう一杯」でおなじみの明大野球部OB八名信夫氏が率いる、劇団「悪役商会」が平成9年9月15日福岡電気ビルホールで公演を行った。福岡支部では有志40名で、応援に駆けつけた。開演前、2階最前列陣取り、支部の紫紺の旗を高々とかかげた我々の紹介があり、小石原英照応援団OBの指揮で八名信夫氏に激励のエールを送った。テンポの早い巧妙な芝居を抱腹絶倒堪能し、閉演後は、八名信夫氏を囲み

旗の下に結集を)

4. 博紫会ゴルフコンペを年2回開催。
5. 2~3年毎に福岡支部が主催する明大マンドリンクラブ演奏会の運営支援。etc.

最近では地元のプロサッカーチーム「アビスパ福岡」の菊川凱夫取締役強化本部長(明大OB)を励ます会も開き、静岡から単身福岡に来てスポーツ文化を根付かせようと努力されている菊川先輩を微力ながら応援しています。またアビスパのゴールキーパーの塚本秀樹選手(国見高一明大)も活躍してくれています。

これらの会合やイベントで気の合った校友同士が三々五々集まっては一段と親睦を深めているようですが、博紫会の本当の楽しさや面白さはこの当たりにあるのではないかと思います?

転勤で初めて福岡に来られた方、会社以外に人脈を拡げたい方、何かにつけて明治の校歌を声高らかに歌いたい方、一緒にやりましょう。是非、ご連絡をお願いいたします。

連絡先：会 長 本田博志(昭和52法)

TEL(092)922-7179[自宅]

幹事長 緒方弘臣(昭和60法)

TEL(092)415-0877[勤務先]

NTT西日本テレカ

皆で記念撮影をし、氏の更なる活躍を祈念した。



# すたんどばーA

[タイ国に関する事なら]  
何でもご相談下さい。]

〒810-0801 福岡市博多区中洲4-1-24

☎ 291-0325

政経41年卒 作野士郎

私たちは新しいメディアの可能性を迫ります。

# Planning

福博綜合印刷株式会社

〒812-0043 福岡市博多区堅粕3丁目16番36号

TEL.092-451-2989(代)

## 支部の歴史

支部の活動は、明治時代にさかのぼる。大正期の支部常任幹事は、田辺秀雄氏で事務局担当者は毛利淳一郎氏。(戦前は支部長の名称はなく常任幹事であった)。

昭和10年頃、毛利淳一郎氏が常任幹事に就任、幹事には橋本千敏、事務局担当者には原整三の両氏があたった。23年からは支部長名に変更され、毛利淳一郎氏が就任、橋本、原両氏も再選された。支部では、25年に名簿を作成し131人が登録された。29年には、川崎力三氏が支部長に就任。36年には、全国校友福岡大会が開かれ、支部会員は、一致協力し合って成功させ、支部活動にも大きな自信を得ている。48年には、山崎楯秋氏が支部長に就任、50年には、2回目の名簿を作成、登録支部会員は、497人となった。

母校創立100周年記念行事として54年には校友で著名な探険家であり国民栄誉賞に輝いた故植村直己氏らを

招き記念講演会を盛大に開催した。翌55年に3回目の名簿を作成し会員は613人となった。56年には応援団の合宿が志賀島であり、発表会は福岡郵便貯金会館で盛大に行われ支部会員多数参加し支援・協力をした。59年秋に全国校友大会を福岡県内9支部合同で開催しようとの機運がたかまり、昭和61年10月全国校友福岡大会を開催した。全国大会を機に福岡県内校友2500名を収録した名簿を作成し、福岡県連合支部が発足した。昭和63年に木元規短男氏が、平成3年には蒲原順次氏が、平成5年には古賀愛人氏(現支部長)がそれぞれ支部長に就任した。最近のマンドリン演奏会は昭和62年、平成2年(ゲスト/さとう宗幸)、平成5年(ゲスト/チェリッシュ)と3年毎に福岡サンパレスにて開催され、平成8年3月にはゲストに菅原洋一を迎えて福岡アクロス・シンフォニーホールにて1900名の入場者で盛大に行われた。平成10年8月に発行される、福岡支部だより2号よりは歴代支部長と福岡支部に貢献された方々の思い出と横顔をシリーズで掲載する予定です。

## 広報委員会

広報委員長 伊藤文武

校友の皆様、新年明けましておめでとうございます。皆様には日頃より母校ならびに校友会に対し格別のご協力を賜わり厚く感謝申し上げます。

既に平成9年9月「福岡支部だより(準備号)」にてご案内申し上げました通り、これまで校友会福岡支部の日常活動について皆様に詳しくお知らせする機会がありませんでしたが、このたび校友親睦活性化の一助として福岡支部に新たに広報委員会を設け、本紙を創刊号とする会報「福岡支部だより」を発行することになりました。発行は年2回、1月の新年交礼会と9月の支部総会のご案内状に同封お届けいたします。

なお広報委員会のメンバーは、矢谷学幹事に編集全般の実務を担当していただき、報道及び情報業務に精通した方々を含む右記10名によって編成しております。

広報委員会としては、古賀支部長をはじめ幹事会のご指導のもと、広く校友皆様のご支援ご鞭撻を頂戴しながら、号を重ねるごと充実した紙面作りに努めますので今後とも忌憚のないご意見やご投稿など皆様のご協力を切にお願い申し上げます。

最後に創刊号発行に当って広告協賛下さいました校友各位に対し心からの御礼を申し上げ、併せて母校ならびに校友の皆様にとって本年が良い年でありませうようお祈り申し上げます。

### ●広報委員会

委員長 伊藤文武(S32法)	委員 二木清彦(S52政)
副委員長 矢谷 学(S50法)	◇ 吉田雄二(S55商)
委員 石井義孝(S35商)	◇ 松本靖郎(S59政)
◇ 城戸直樹(S37法)	◇ 齊藤博文(H元文)
◇ 荻原弘章(S33法)	◇ 塚元弘慶(H2営)

お目ざめは

フクオカのセントラル  
(市の中心)



セントラルホテルフクオカ

〒810-0004 福岡市中央区渡辺通4丁目1-2(九電ビル横) ☎092-712-1212

●ご予約 ☎092-712-5489

支配人 石井義孝(昭和35年 商学部卒)

- 13F/オーロラグランドバス(展望大浴場・サウナバス)
- 4~13F/客室(シングル・ツイン)275室・収容人員370名
- 3F/宴会場・結婚式場・会議室
- 2F/季節料理「しげ富」・純中国料理「蘭蘭」
- 1F/ロビー・フロント・コーヒーラウンジ・駐車場
- B1F/名店街(セントラルスクエア)

# 福岡支部役員名簿

明治大学校友会福岡支部事務局

〒810-0004 福岡市中央区渡辺通4-1-2 セントラルホテルフクオカ内 TEL092-712-1212

役職	氏名	卒年	学部
顧問	蒲原 順次	S 6	法
〃	木下 健	S 28	政経
支部長	古賀 愛人	S 24	政経
副支部長	緒方 豊吉	S 13	政経
〃	萩原 一彦	S 28	政経
〃	安永 富士男	S 30	商
〃	森 泰播	S 33	経営
常任幹事	渡 治男	S 16	専
〃	小石原 英照	S 27	商
〃	奥 蘭 克彦	S 29	法
〃	林 文 郎	S 31	工
〃	伊 藤 文 武	S 32	法
〃	岩 崎 明 弘	S 34	法
〃	作 野 士 郎	S 41	政経
〃	上 野 孝 幸	S 45	工
〃	横 田 耕 治	S 48	工
〃	矢 谷 学	S 50	法
〃	本 田 博 志	S 52	法
事務局長	石 井 義 孝	S 35	商
監査	城 戸 直 樹	S 37	法
〃	橋 本 敏 夫	S 28	政経
〃	望 月 孝	S 28	政経
幹事	建 川 聰	S 28	政経
〃	貞 方 道 夫	S 30	商
〃	長谷川 敏 夫	S 30	商
〃	上 月 武 志	S 30	商
〃	塩 崎 正 臣	S 30	文
〃	松 浦 義 美	S 31	政経
〃	井 手 安 美	S 31	工
〃	萩 尾 政 明	S 33	法

役職	氏名	卒年	学部
幹事	上 杉 鷹 雄	S 33	商
〃	萩 原 弘 章	S 33	法
〃	朝 山 昭 男	S 33	経営
〃	原 維 宏	S 34	商
〃	梅 津 幸 弘	S 35	法
〃	松 岡 要 三	S 35	政経
〃	岩 佐 嘉 久	S 37	法
〃	松 尾 善 勝	S 38	法
〃	徳 田 昭 実	S 39	農
〃	河 北 昭 隆	S 39	政経
〃	荒 川 於 免	S 39	工
〃	禪 院 正 隆	S 41	政経
〃	野 口 順 四 郎	S 41	法
〃	吉 田 英 毅	S 42	法
〃	山 田 勝 征	S 42	法
〃	吉 田 善 行	S 45	経営
〃	名 合 武	S 49	政経
〃	坂 口 憲 義	S 49	商
〃	善 敏 治	S 50	工
〃	二 木 清 彦	S 52	政経
〃	中 原 淳 二	S 53	農
〃	木 下 和 広	S 53	政経
〃	吉 田 幸 滋	S 55	商
〃	松 本 優 三	S 56	商
〃	鈴 木 弘 幸	S 56	政経
〃	福 永 英 男	S 56	政経
〃	藤 瀬 浩 幸	S 60	経営
〃	緒 方 弘 臣	S 60	法
〃	高 野 礼 子	H 1	法

## 編集後記

福岡支部だより創刊号をお届け致しましたが、総会等の報告以外にも各分野で活躍健闘されている校友の状況等をお知らせしたいと考えております。是非色々な情報を事務局にお寄せください。

### ●今回の報告

北岡秀雄陶彫展「遙かなりオリエントー転成一」  
昭和41年政経卒・日展会友・日工会評議員・福岡県美術協会会員で活躍され、福岡市早良区重留に「キタ陶房」を主催される北岡秀雄氏が、天神に新築されたギャラリー

で平成9年10月24日～11月9日に個展を開催され多くの鑑賞者でにぎわい大盛況であった。校友の皆様も次回の個展を是非ご期待、ご鑑賞ください。

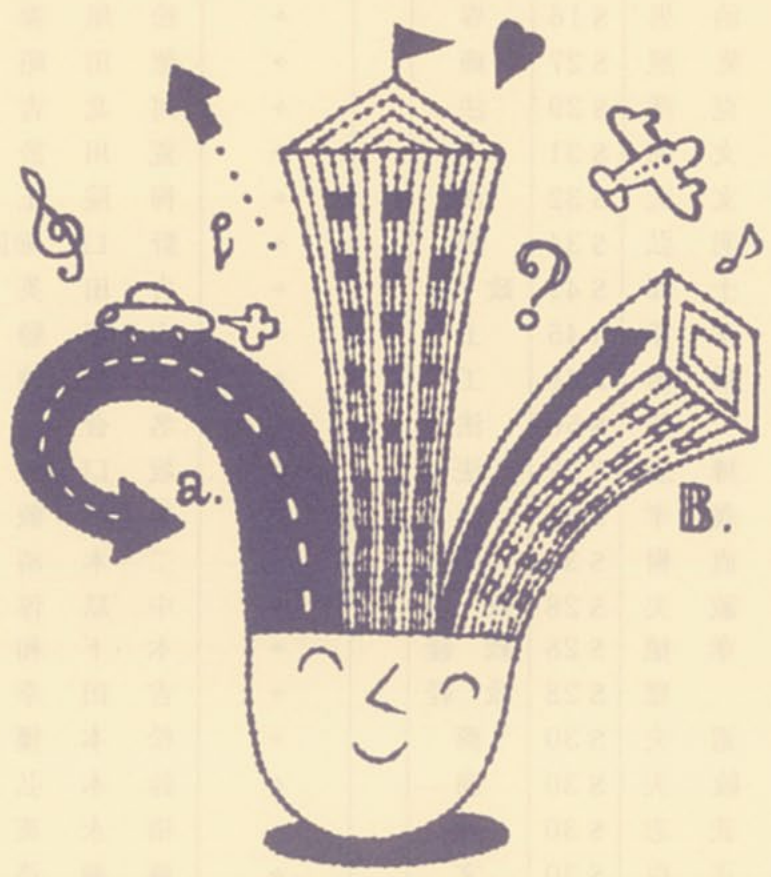


陶彫作家 北岡秀雄氏



北岡秀雄陶彫展より

愉快な街にしようよ。



株式会社松本組

# Matsumoto

代表取締役社長 松本優三 (56年・商学部卒)